

大垣市(岐阜県)の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

大垣市役所本庁舎内で市とハローワークが連携して、ワンストップサービス（生活相談・職業相談・職業紹介等）を実施。

大垣市子育て総合支援センターへ、ハローワークの出張職業相談等を実施。

市

生活相談等の実施



国

職業相談・職業紹介等の実施

① 事業内容

- ・市役所庁舎内の「大垣市雇用・就労支援センター」(ワークプラザおおがき)で外国人の方・子育て中の方・生活に困窮している方等に生活相談・職業相談・職業紹介等を実施
- ・子育て総合支援センターで子育て中の方に職業相談・職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・大垣市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を大垣市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・大垣市職員、岐阜労働局職員をメンバーとする運営協議会を設置



市役所本庁舎において市の生活相談等とハローワークの職業相談・職業紹介等による外国人の方・子育て中の方・生活に困窮している方等へのワンストップのサービス提供が実現。

大垣市子育て総合支援センターにおいて、子育て中の方にハローワークの職業相談・職業紹介が実現。

(1) 実施体制

大垣市

- ・ 雇用・就労相談員2名を配置
- ・ 通訳1名を配置

国(ハローワーク大垣)

- ・ 職業相談員3名を配置
- ・ 通訳1名を配置
- ・ 求人情報提供パソコン3台を配置

(2) 事業目標と取組状況(25年度)

(※ 就職者数は自己就職も含む)

項目	事業目標(年度)	取組状況(平成25年10月末現在)
市役所本庁舎内の「ワークプラザおおがき」で職業相談・職業紹介等の実施	◇合計 利用者数: 12, 200名 就職者数: 260名	◇利用者数累計 7, 501名 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> ワークプラザおおがき 7, 436名 子育て総合支援センター 65名 </div>
子育て総合支援センターで職業相談等の実施		◇就職者数累計 341名 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> ワークプラザおおがき 315名 子育て総合支援センター 26名 </div> <p>(子育て総合支援センターへは、ハローワークから職業相談員1名が、月2回の出張により職業相談等を実施。)</p>

新しい就労支援サービスの提供について

大垣市長 小川 敏



リーマンショックや東日本大震災の影響により、日本の経済状況は厳しいものとなり、本市及び周辺地域の雇用情勢も厳しい状況になりました。

このような中、平成24年4月2日、市役所庁舎内において「ハローワークとの一体的実施事業」として、『大垣市雇用・就労支援センター』を開設しました。

これにより、市役所という一つの建物の中で、従来の福祉サービスや生活相談に加え、新たに職業相談や職業紹介のサービスをワンストップで提供することができ、現在では月1,000人を超える方が利用されています。

また、本市の重点プロジェクトである「子育て日本一」実現のため、子育て総合支援センターにおいても、子育て相談に加え、出張職業相談月2回開催し、子育て中の方から高い評価をいただいております。

この事業により、国と市が直接連携・協力するきっかけとなり、それぞれが実施する各種就労支援事業での協力体制を構築することができました。

今後とも、ハローワークと連携を密にし、市民が安心して生活・就労できるよう、サービスの向上に努めていきたいと考えています。

一体的実施事業(大垣市)による就職成功例

女性：50代 希望職種：事務職

○ ワークプラザおおがきへ来所された理由

32年間勤務していた事業所が閉鎖となり、退職した。
ハローワークの総合受付でワークプラザおおがきを知り、来所した。

① 抱える課題

製造業の事務職として長年勤務しており、習得したVBAが活かせるIT関連を希望するも、実務経験が求められ厳しい。
応募を繰り返すが不調が続き、一時は就職活動に行き詰まっていた。
また、年齢面を考慮すると、体力面から職種と就労場所については、今後の職業選択においての重要な課題である。
これまで一つの会社に勤務してきたことで、自己理解や労働市場の現状についての認識が十分でなかったことも課題であった。

② 支援内容・ポイント・経過

これまで身につけてきた能力をアピールするため、棚卸から始めた。
棚卸により「本人の強み」などが整理され、自分に自信を持ち、職業選択の視野を広げてみるようアドバイスをした。
応募書類や面接の準備及び振り返りを繰り返すことで次第にアピールすべきところが明確化され、面接に臨むことができるようになった。

③ 結果

宿泊ホテルの経理事務補助で採用が決定した。

○ ハローワークの職業相談員の所感

本人の棚卸で本人の強みが引き出せ、職業選択の良きアドバイスとなった。
熱心に来所し、相談を繰り返すことで本人の自信に繋げることができた。

○ 本人のコメント

いろいろアドバイスをいただき安定した仕事に就くことができました。

男性：60代 希望職種：特に決めていない

○ ワークプラザおおがきへ来所された理由

勤務地が遠いことを理由に定年を待たず、自己都合で退職した。
ハローワークでワークプラザおおがきを知り、来所した。

① 抱える課題

これまでに数か所の離転職を繰り返していたが、必要な免許、資格はその都度取得していた。
自信を持ってアピールすることに控えめな性格で、経験者として期待されるプレッシャーにさいなまれ、自分自身に自信が持てないことが真の課題であると思われる。

② 支援内容・ポイント・経過

自己理解のためにこれまで経験してきた仕事内容や成果などについて聞き取り、豊富な経験と技術がアピールポイントであると判断した。
応募書類については、応募先ごとに志望動機などの書き方を助言したことで、アピールするべきところが明確化され、面接に自信を持って臨むことができるようになった。

③ 結果

鋼製シャッタードアの製造に関する溶接・組立の補助作業で採用となった。

○ ハローワークの職業相談員の所感

これまで本人が経験したことを詳細に聞き取り、助言を行うことで本人の自信に繋げることができた。
これが、良い結果をもたらしたものである。

○ 本人のコメント

希望していた仕事に就くことができました。
体力の続く限り、精一杯頑張っていきたいと思えます。

一体的実施事業(大垣市)による就職成功例

女性：30代 希望職種：保育士

○ ワークプラザおおがきへ来所された理由

子供が「ことばの教室」に週1回通うため、子育てに理解のある事業所を希望して、子育て支援センターに来所した。

① 抱える課題

保育士として10年の経験があるため、保育士での就労を希望するが、「ことばの教室」に通うため、平日に1日休みが取れるところがあるのか不安である。

② 支援内容・ポイント・経過

子供を中心とした就労を1番に考えているため、保育士以外にも条件が合えば良いとのこと。
保育士以外の求人で、週2～3日勤務の求人を何件か紹介するも保育士の経験しかないため、不調を繰り返す。
あきらめず、本人の希望を伝えながら保育士の求人を探していった。

③ 結果

最終的に応募した保育園が「ことばの教室」に理解があり、採用となった。

○ ハローワークの職業相談員の所感

週1回休める事業所で、しかも経験が保育士しかないという厳しい条件であった。
色々な職種に挑戦するという意欲はあったが、就職には結びつかず結果として採用となった保育園が理解のあるところで良かった。

○ 本人のコメント

最後まで保育士をあきらめなかったことが、結果的に希望の職種で採用され良かった。

男性：20代 外国人(ブラジル国籍)
希望職種：製造業

○ ワークプラザおおがきへ来所された理由

友人からハローワーク大垣の出先機関が市役所内にあることを聞き、来所した。

① 抱える課題

日本語能力が高いため、一般求人での応募を希望。
履歴書や面接は派遣会社での経験しかなく、履歴書も正式に書いたことがない。

② 支援内容・ポイント・経過

製造やその他の職種で幅広く求人を提供し、その中で経験のある職種(除草)に応募。
履歴書は日本語で記入できることもあり、記載に当たっての基本的なアドバイスをを行った。
また、面接はぶっつけ本番で臨みたいという本人の希望もあったが、面接に当たり簡単なアドバイスは行った。

③ 結果

除草作業員として採用となった。

○ ハローワークの職業相談員の所感

日本語能力に問題はなく、スムーズな求職活動でした。
前向きな性格で相談していても好印象でした。

○ 本人のコメント

経験があったため、迷わずに応募を決定することができた。
面接時に力いっぱい自分の意思を伝え、それが好結果につながったと思う。